

冬焼き～火入れ

1. 実施日時 令和4年1月23日（日） 9：00～14：00
2. 実施場所 仁多郡奥出雲町佐白地内（ダムに見える牧場林地）
3. 参加者数 火入れ従事者10名 ※参加者住所地（松江市、雲南市、奥出雲町）
4. 概要 10時00分着火、12時10分中断決定、13時40分鎮火。
曇りのち雨、最高気温5℃、最低気温2℃、湿度不明、風0m（着火時）。
一定の火勢が得られるのに2時間かかる中、雨が強まり、日没までの終了が危ぶまれること、雨下作業での安全・健康等考慮の上、中止打切りを決定。積竹を切り崩し、孤立させた部位内で燃焼・鎮火を行った。
5. 今後の予定（次年度含む）
 - 同区画での春の火入れ準備（竹の移動と伏せ込み・伐採、草刈り等防火帯形成、タンク設置給水）
 - 燃焼残積竹の対処検討と作業を積雪状況鑑みながら実施（移動しなおし、小規模での消炭づくり）
 - 地域の焼畑に関する多面的調査の継続（歴史、民俗、環境生態、山村の生活技術、信仰等）

6. 状況写真

▼1枚めは前日の現地。埋没積竹の箇所を除雪し翌日に備えた。燃やす孟宗竹は伐採後3年弱が8割、1年1割、1～3ヶ月1割。これまでの経験から、含水率が高くても燃焼が続くであろう積み方をしたが、火勢を得るのに時間を要した。



▼2時間が経過し、雨も次第に強くなってきたところで、中止を決定。細長く積載していた竹の山を途中で切断。残す竹の山と分離し、孤立させた部位内で燃焼を継続させ、鎮火させた。13時40分鎮火、14時20分撤収。



†. 令和3年度竹の焼畑事業は「出雲の山廻り～竹の焼畑2022」と呼称。奥出雲山村塾、島根大学里山管理研究会、森と畑と牛と、ダムに見える牧場が主要主体となって取り組んでいる事業です。